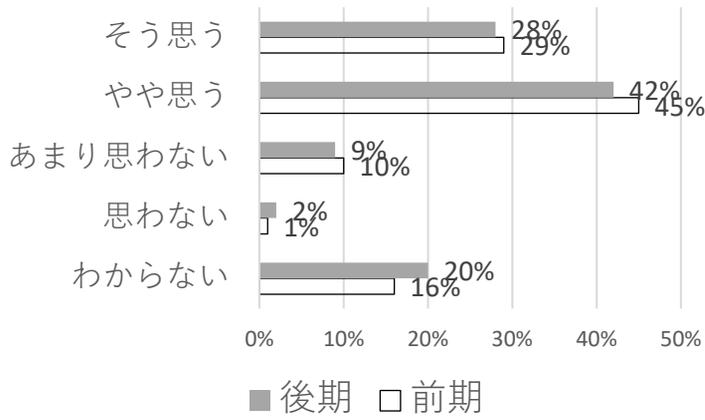
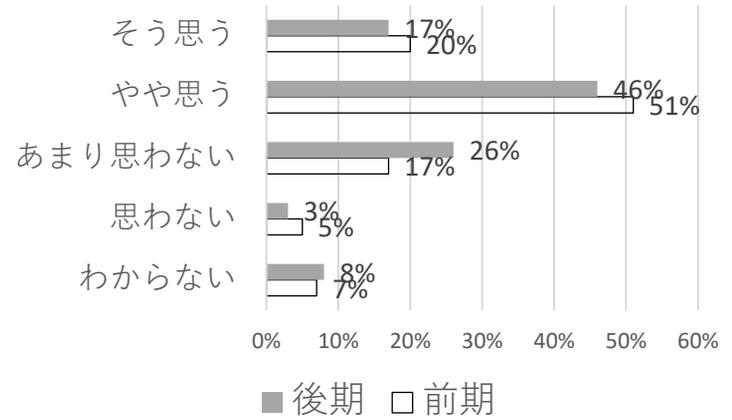


学校評価（保護者・前後期） 集計結果（全学年） 宇部市立神原中学校

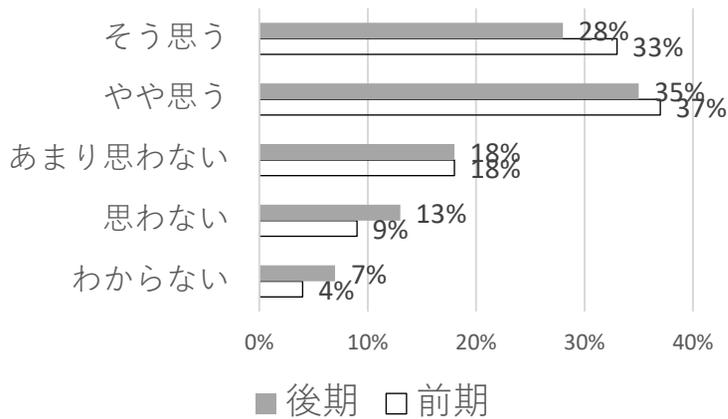
1 学び合い活動を取り入れた授業はお子さまの学習に役立っている



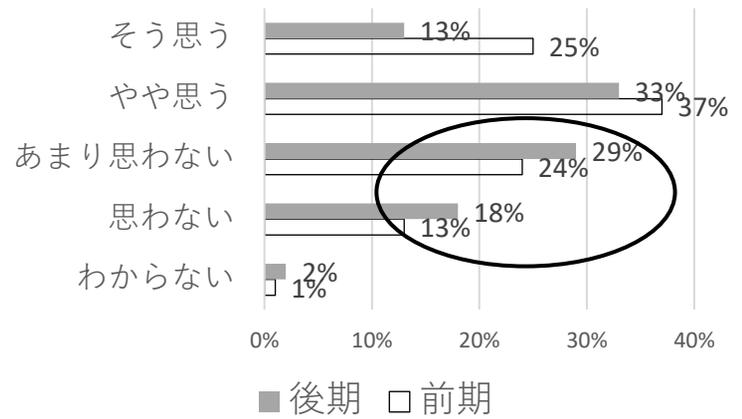
2 お子さまは、授業がわかりやすいと言っている



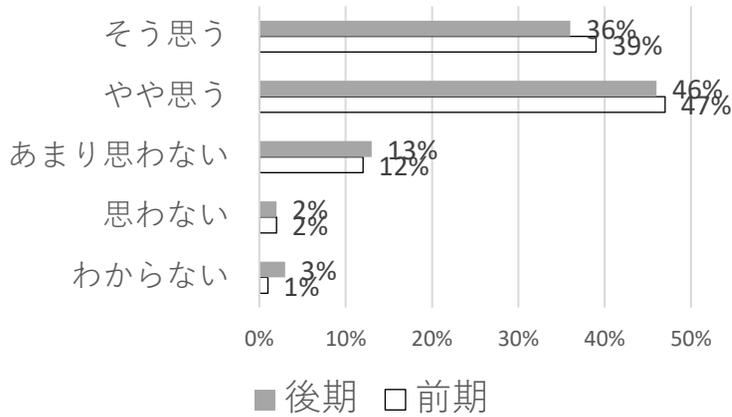
3 お子さまは、タブレット端末等 ICT 機器を授業や家庭で有効に活用している



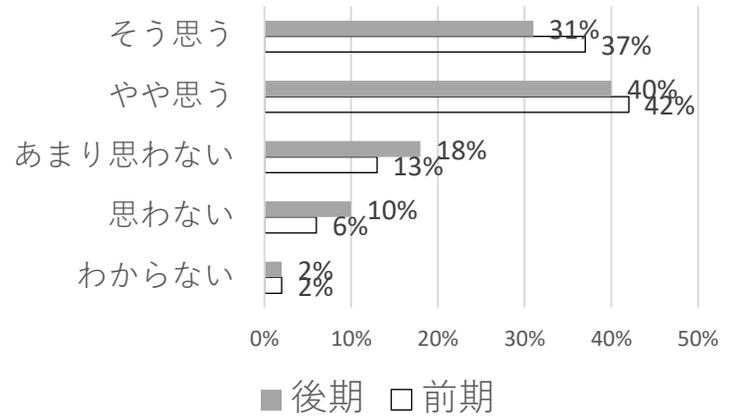
4 お子さまは、家庭学習によく取り組んでいる



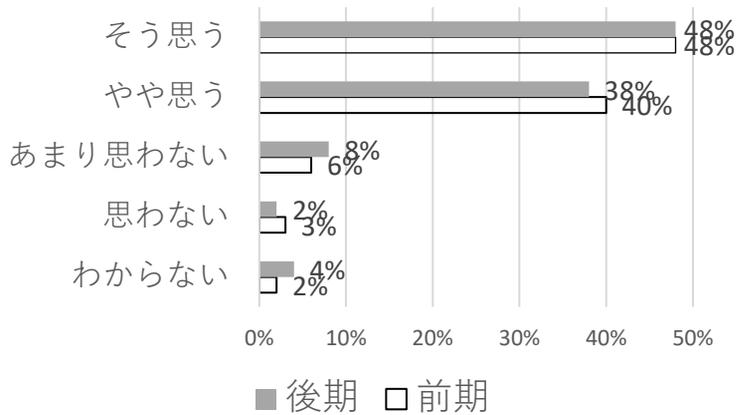
5 お子さまは、場や時に応じた礼儀、あいさつ言葉かきに心がけている



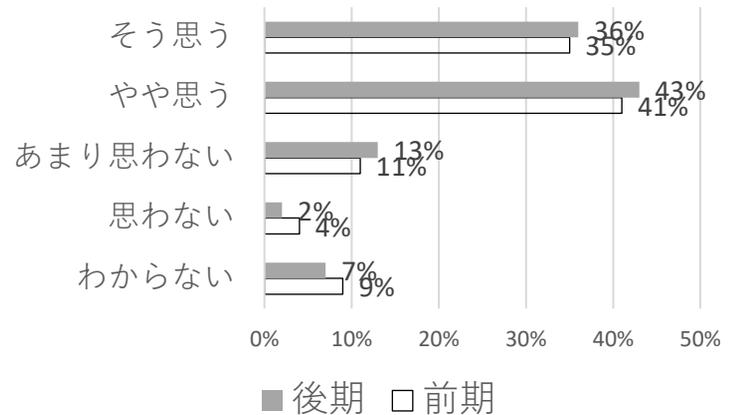
6 お子さまは、きまりや時間を守るように心がけている



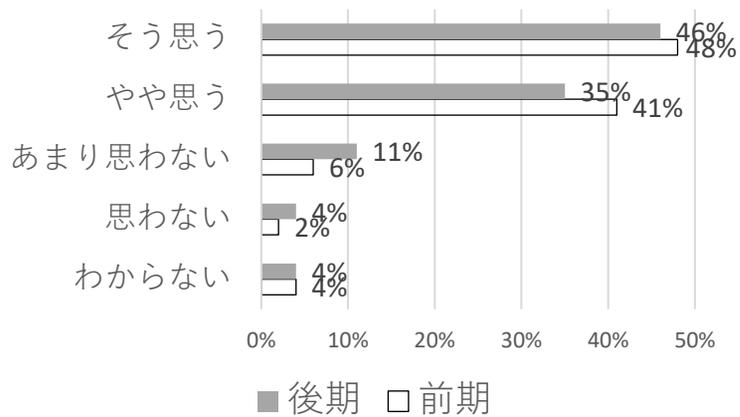
7 お子さまは、思いやりの心や人権を大切にしている



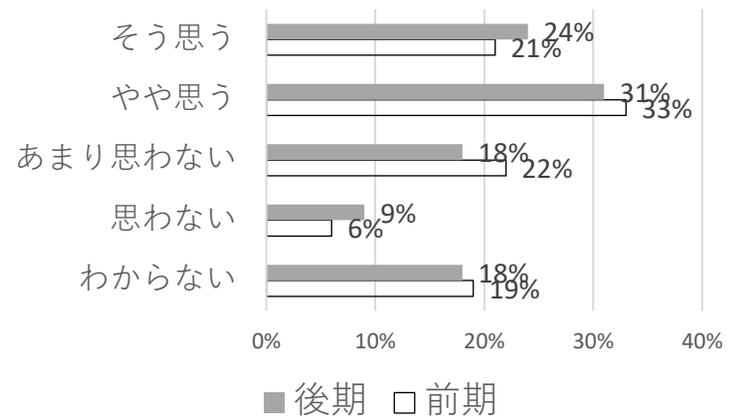
8 教員は、お子さまの良いところを認め伸ばそうとしている



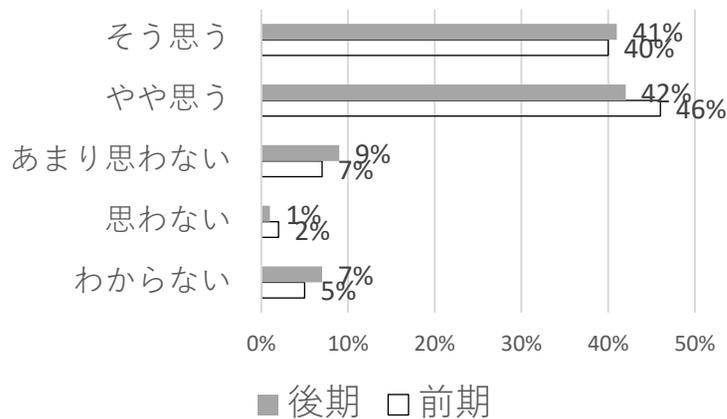
9 お子さまは、学校生活を楽しく過ごしている



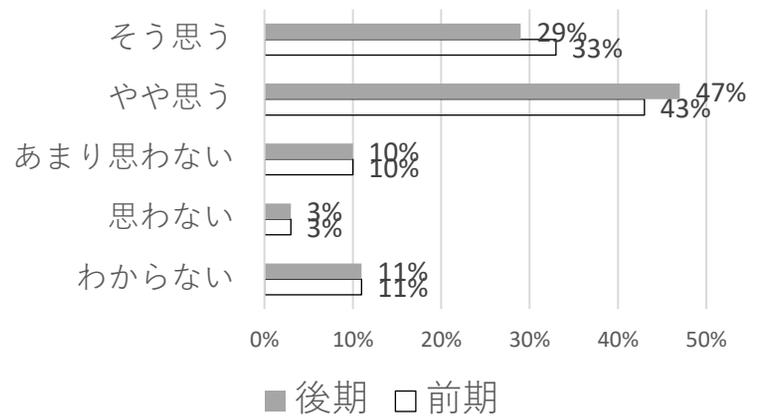
10 お子さまは、生徒会活動に充実感を感じている



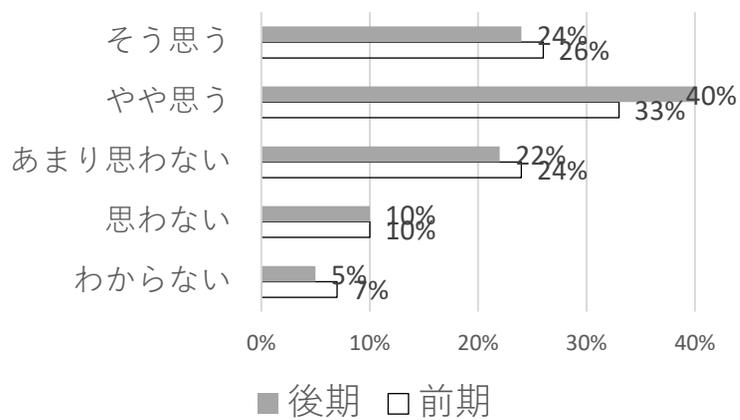
11 お子さまは、お互いを尊重し、好ましい友人関係をつくっている



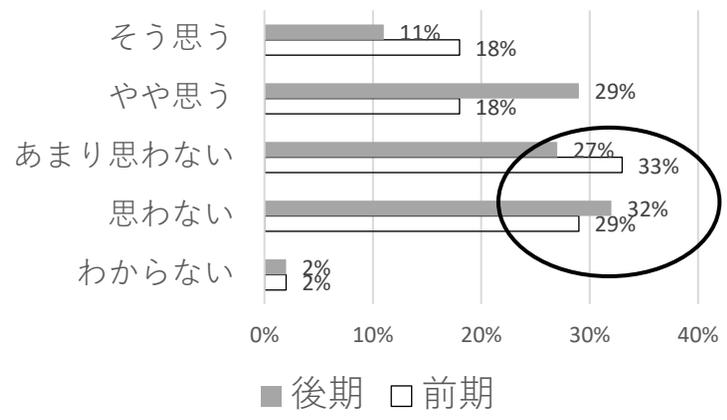
12 教員は、お子さまや保護者の悩み・相談に親身になって応じている



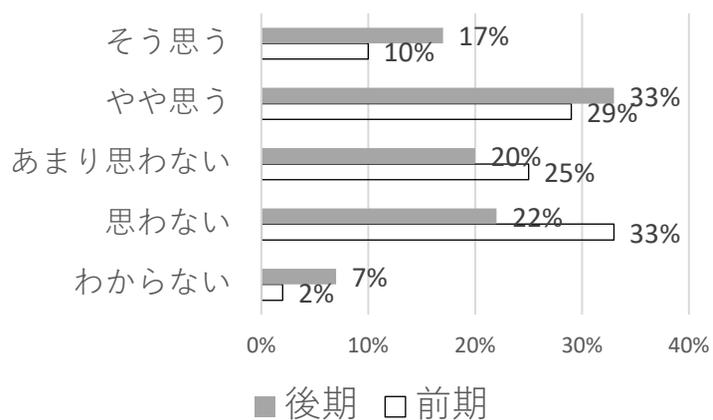
13 お子さまは、夢や志、将来の目標などある程度描いている



14 お子さまは、スマホやゲームなどの時間を決めて



15 お子さまは、地域の行事やボランティア活動に参加している



前期より評価が下がった設問もありますが、各設問ともおおむね肯定的な回答が多く、生徒はきまりや時間を守り、あいさつや人権を大切に落ち着いた学校生活を送っています。後期のいじめ等の認知件数が0ということからそのことが伺えます。しかし、依然として家庭学習、メディアの時間には課題があり、学力の二極化、学力の定着と関連が懸念されます。特に来年度受験生になる2年生の家庭学習の取組とメディア時間の改善は喫緊の課題です。

22日(金)に行った学校運営協議会でも、このことが話題となり、家庭との連携だけでなく、生徒会の学習委員会、保健体育委員会が中心となって生徒自身に考えさせ、解決していくことが大切ではないかと前期同様の意見をいただきました。